

自分の住む町を知ること

岐阜市立岩野田中学校 3年

亀山 聖華

あなたは、自分の住む地域の魅力は何か自信をもって伝えることができますか。以前の私には、この質問をされたら、返す言葉もありませんでした。

昨年8月、私は、岐阜市の事業でカンボジアに行きました。その際に衝撃を受けたことについて話します。

行きのノイバイ国際空港でのことです。カンボジアへの派遣生には外国に住む方に岐阜紹介をする課題が与えられており、私も一生懸命に、暗記した英語の紹介文を話していました。しかし、相手の外国の方は何の原稿もないはずなのに、すらすらと自分の町の事を紹介してくださいました。それだけでも衝撃だったのに、さらに、「あなたの住んでいる町の魅力は何。」というような質問をされてしまいました。原稿にあったことしか話せないだけでなく、英語で話せない以前に、頭に日本語で岐阜の魅力を伝える文すらも浮かんでこなかったのです。さらに、「英語でどう言ったらよいか分からない。」と嘘をついて話を終わらせてしまいました。相手の方は、自分の住む町のことをよく知っているから、自信をもって話しているのだなと思うと同時に、生まれてからずっと住み続けているこんなに大好きな岐阜という町のことを、こんなにも分かっていなかったのかと悔しくなりました。

日本に帰ってきた私は、今までに行った岐阜の名所などを思い返してみたり、もう一度訪れたりしました。すると、今までは気付かなかった新しい発見がいくつもありました。特に、河原町広場から見上げる岐阜城は、疾走感あふれる信長の銅像や季節によってさまざまな表情を見せる金華山と相まって、物凄い迫力がありました。それは、金華山の山頂から見上げるのとも、百々ヶ峰から長良川を挟んで見下ろすのとも違う迫力でした。そして、もっと岐阜の町が大好きになりました。

今年、岐阜はNHK大河ドラマの舞台となり、岐阜市にも大河ドラマ館ができました。もともと大河ドラマが好きな私は、岐阜の役に立てて、自分の好きなことに関わることができるならと思い、展示解説のボランティアに参加しました。すると、県外からいらしていた方に、「岐阜で観光できる良いところはどこがある。」と聞かれました。この時には、以前調べたり、自分の経験したりしたことを基にしっかりと話すことができました。話し終わった時に相手の方が笑顔で「ありがとう。そこに行ってみようかな。」と言って下さいました。それを聞いて、岐阜のことを知っていただけ嬉しさがこみ上げてきました。自分の住む町を知り、伝えることができるということは、相手だけでなく自らの喜びにも繋がるのだと実感しました。

自分の住む町を知るとは、自信をもって自分の住む町のことを伝えられるということだと思います。そして、好きになるということではないでしょうか。

今の私が知らない岐阜の良さはたくさんあると思います。だから、これからももっと岐阜の事を知って、いろいろな人に伝えていきたいです。そして、みなさんにも、自分の住む町の事を知って、様々な人に広めて行って欲しいです。